

2006 年

* 当時の大学院生の筆頭業績は◎にしてあります。

英文原著

1. **Kohzuki M.** Cardiac rehabilitation in Japan: prevalence, safety and future plans, *J HK Coll Cardiol* 14: 43-45, 2006
2. **Kanazawa M, Kawamura T, Li L, Sasaki Y, Matsumoto K, Kataoka H, Ito O, Minami N,** Sato T, Ootaka T, **Kohzuki M.** Combination of exercise and enalapril enhances renoprotective and peripheral effects in rats with renal ablation. *Am J Hypertens* 19: 80-86, 2006
3. **Minami N, Mori N, Nagasaka M, Ito O, Kurosawa H, Kanazawa M, Kaku K, Lee E, Kohzuki M.** Mechanism behind augmentation in baroreflex sensitivity after acute exercise in spontaneously hypertensive rats. *Hypertens Res* 29: 117-122, 2006
4. Dobsák P, Nováková M, Fiser B, Siegelová J, Balcárková P, Spinarová L, Vítovec J, **Minami N, Nagasaka M, Kohzuki M,** Yambe T, Imachi K, Nitta S, Eicher JC, Wolf JE. Electrical stimulation of skeletal muscles. An alternative to aerobic exercise training in patients with chronic heart failure? *Int Heart J* 47: 441-453, 2006
5. **Ito O,** Nakamura Y, **Tan L,** Ishizuka T, **Sasaki Y, Minami N, Kanazawa M,** Ito S, Sasano H, **Kohzuki M.** Expression of cytochrome P-450 4 enzymes in the kidney and liver: regulation by PPAR and species-difference between rat and human. *Mol Cell Biochem* 284: 141-148, 2006
6. ◎**Nagasaka M, Kohzuki M,** Fujii T, Kanno S, **Kawamura T,** Onodera H, Itoyama Y, Ichie M, Sato Y. Effect of low-voltage electrical stimulation on angiogenic growth factors in ischaemic rat skeletal muscle. *Clin Exp Pharmacol Physiol* 33: 623-627, 2006
7. Dobsák P, Nováková M, Siegelová J, Fiser B, Vítovec J, **Nagasaka M, Kohzuki M,** Yambe T, Nitta S, Eicher JC, Wolf JE, Imachi K. Low-frequency electrical stimulation increases muscle strength and improves blood supply in patients with chronic heart failure. *Circ J* 70: 75-82, 2006
8. **Chida K,** Saito H, Otani H, **Kohzuki M,** Takahashi S, Yamada S, Shirato K, Zuguchi M. Relationship between fluoroscopic time, dose-area product, body weight, and maximum radiation skin dose in cardiac interventional procedures. *Am J Roentgenol* 186: 774-778, 2006
9. **Chida K,** Otani H, **Kohzuki M,** Saito H, Kagaya Y, Takai Y, Takahashi S, Yamada S, Zuguchi M. The relationship between plasma BNP level and the myocardial phosphocreatine/adenosine triphosphate ratio determined by phosphorus-31 magnetic resonance spectroscopy in patients with dilated cardiomyopathy. *Cardiology* 106: 132-136,

2006

10. **Chida K**, Saito H, Kagaya Y, **Kohzuki M**, Takai Y, Takahashi S, Yamada S, Zuguchi M. Indicators of the maximum radiation dose to the skin during percutaneous coronary intervention in different target vessels. *Catheter Cardiovasc Interv* 68: 236-241, 2006
11. **Han CW**, Yajima Y, Nakajima K, Lee EJ, Meguro M, **Kohzuki M**. Construct validity of the Frenchay Activities Index for community-dwelling elderly in Japan. *Tohoku J Exp Med* 210: 99-107, 2006

和文原著

1. 後藤葉一, 齋藤宗靖, 岩坂壽二, 代田浩之, 上月正博, 上嶋健治, 牧田 茂, 安達 仁, 横井宏佳, 大宮一人, 三河内弘, 田邊 潤, 横山広行, 循環器病研究委託費(15 指-2)「わが国における心疾患リハビリテーションの実態調査と普及促進に関する研究」班. 施設基準改正後の心臓リハビリテーションの変化 我が国における急性心筋梗塞症回復期心臓リハビリテーションの全国実態調査. 心臓リハビリテーション 11: 36-40, 2006
2. 黒澤 一, 安藤守秀, 塩谷隆信, 植木 純, 古藤 洋, 神辺眞之, 榊原博樹, 阿部 直, 井上博雅, 川山智隆, 陳 和夫, 東條尚子, 梅 博久, 南須原康行, 藤本圭作, 宮本頭二, 一ノ瀬正和, 相澤久道, 日本呼吸器学会肺生理専門委員会. 呼吸器機能障害認定の妥当性についての検討 「身体障害者福祉法」への提言. 日本呼吸器学会雑誌 44: 1016-1024, 2006
3. 伊藤 修, 森 信芳, 長坂 誠, 南 尚義, 金澤雅之, 上月正博. 経皮経食道胃管挿入術 (PTEG) を試みた摂食・嚥下障害の 3 例. リハビリテーション医学 43: 675-679, 2006
4. ◎郭 琪, 南 尚義, 上月正博. 高血圧・大動脈硬化に対するアンジオテンシン変換酵素阻害薬と運動の効果—高血圧自然発症ラットにおける検討—. *Therapeutic Research* 27-8: 1605-1613, 2006
5. ◎今西里佳, 金澤雅之, 石田篤子, 河村孝幸, 山川麻貴, 森 信芳, 長坂 誠, 小川美歌, 伊藤 修, 南 尚義, 吉田俊子, 上月正博. 当科における急性心筋梗塞回復期心臓リハビリテーション後の長期予後. 心臓リハビリテーション 11: 79-82, 2006
6. ◎後藤葉子, 上月正博, 佐々木裕子, 黒澤 一, 佐藤徳太郎. Sickness Impact Profile (SIP)日本語版の作成と慢性呼吸器疾患患者における信頼性および妥当性の検討. 東北医学雑誌 118: 1-8, 2006
7. ◎吉川卓司, 南 尚義, 上月正博. 高血圧自然発症ラットにおける β 遮断薬と運動の併用効果. 体力科学 55: 307-318, 2006
8. ◎佐々木裕子, 金澤雅之, 伊藤 修, 上月正博. 5/6 腎摘除慢性腎不全モデルラッ

- トの血圧，腎機能および腎病変に対する長期的運動，低タンパク食，長期的運動とアンジオテンシン II 受容体拮抗薬の併用効果. 日本腎臓学会誌 48: 4-13, 2006
9. ◎森 直樹，黒澤 一，松本香好美，伊東愛子，伊藤友一，藤原健一，上月正博. 重症心身障害児(者)の脊柱変形と呼吸機能の相関. 脳と発達 38: 10-14, 2006
 10. ◎大槻久美. 同種造血幹細胞移植患者の QOL と Spiritual Well-being の関連. 日本がん看護学会雑誌 19: 81-86, 2006

和文単行本

1. 上月正博. 変わるリハビリー広がる対象疾患と新しい攻めのリハビリー. ヴァンメディカル: 1-171, 2006
2. 金澤雅之，上月正博. 腎機能障害と運動. 内部障害のリハビリテーション、リハビリテーションMOOK No. 14. 金原出版: 43-49, 2006
3. 黒澤 一. 呼吸リハビリテーション. 図解 呼吸器内科学テキスト (長瀬隆英, 永田泰自編著). 中外医学社: 83-88, 2006
4. 黒澤 一，佐野裕子. 呼吸リハビリテーションDVD付き—基礎概念と呼吸介助手技—. 学研: 1-113, 2006
5. 黒澤 一. 呼吸不全のリハビリテーション. 呼吸の事典. 朝倉書店: 578-589, 2006
6. ◎森 信芳，上月正博. 臓器移植とリハビリテーションの現状—肺移植—. 内部障害のリハビリテーション、リハビリテーションMOOK No. 14. 金原出版: 105-110, 2006
7. ◎片岡ひとみ. 以前はうまくできていたストーマ装具が合わなくなったのですが、原因は何? ナーシングケア Q&A 14、徹底ガイド、排便ケア Q&A (前田耕太郎編). 総合医学社: 164-169, 2006
8. ◎片岡ひとみ. ストーマ装具を外で交換する時は、場所 (公衆トイレ) などはどうするの? ナーシングケア Q&A 14、徹底ガイド、排便ケア Q&A (前田耕太郎編). 総合医学社: 164-169, 2006
9. ◎片岡ひとみ. ストーマ外来ってどんなことをするの? ナーシングケア Q&A 14、徹底ガイド、排便ケア Q&A (前田耕太郎編). 総合医学社: 164-169, 2006

和文総説

1. 上月正博. 腎臓リハビリテーション 現況と将来展望. リハビリテーション医学 43: 105-109, 2006
2. 上月正博. 腎不全と運動 動物モデルでの成績を中心に. リハビリテーション医学 43: 371-379, 2006
3. 上月正博. 特集: 透析患者の QOL 向上のために: 特集に当たって. Journal of Clinical Rehabilitation 15: 201, 2006

4. 上月正博. 特集:心筋梗塞のリハビリテーション Update—普及のための新しい取り組み:特集にあたって. Journal of Clinical Rehabilitation 15: 713, 2006
5. 上月正博. 心筋梗塞のリハビリテーション Update オーバービュー. Journal of Clinical Rehabilitation 15: 714-720, 2006
6. 上月正博. 心臓リハビリテーション認定施設基準と保険診療点数. Journal of Clinical Rehabilitation 15: 750-751, 2006
7. 上月正博, 椿原彰夫, 前田真治, 山口昌夫, 高岡 徹, 永田雅章, 渡邊 修, 田中尚文, 渡部一郎, 日本リハビリテーション医学会関連専門職委員会. リハビリテーション診療に求められる臨床心理業務担当者に関するアンケート調査結果. リハビリテーション医学 43: 808-813, 2006
8. 上月正博. 内科的リスク管理. 臨床スポーツ医学 23: 1117-1125, 2006
9. 上月正博. 内部障害とリハビリテーション:最近の話題. 日本医事新報 4260: 1-7, 2006
10. 上月正博. 「変わるリハビリ」と東北大学障害科学. 山形良陵 37: 1-6. 2006
11. 上月正博. 呼吸器リハビリテーションとは. 白鳥会会誌 178: 4-10, 2006
12. 上月正博. 東北白鳥会総会によせて. 白鳥会会誌 181: 10-11, 2006
13. 上月正博. 呼吸器疾患に負けず元気にすごしましょう. 白鳥会会誌 183: 11-18, 2006
14. 金澤雅之. 運動療法、透析患者の QOL 向上のために. Journal of Clinical Rehabilitation 15: 208-212, 2006
15. 金澤雅之. 腎臓リハビリテーション-延命から QOL 向上の時代へ、KIRINSMILE (キリンビール株式会社医薬カンパニーホームページ): 2006
16. 田畑雅央, 黒澤 一. 酸素流量の決定. 呼吸器ケア 2006 冬季増刊: 136-142, 2006
17. 田畑雅央, 黒澤 一. 高気圧療法. 呼吸器ケア 2006 冬季増刊: 143-149, 2006
18. 富木一磨, 田畑雅央, 黒澤 一. 酸素療法に使用する機器. 呼吸器ケア 2006 冬季増刊: 150-154, 2006
19. 田畑雅央, 黒澤 一. 低流量酸素療法. 呼吸器ケア 2006 冬季増刊: 155-165, 2006
20. 田畑雅央, 黒澤 一. 高流量酸素療法. 呼吸器ケア 2006 冬季増刊: 166-172, 2006
21. 田畑雅央, 黒澤 一. 急性期酸素療法のモニタリングの実際. 呼吸器ケア 2006 冬季増刊: 173-183, 2006
22. 田畑雅央, 泉 きみ, 黒澤 一. 呼吸器ケア 2006 冬季増刊: 194-196, 2006
23. 田畑雅央, 黒澤 一. 高気圧療法. 呼吸器ケア 2006 冬季増刊: 197-199, 2006
24. 北室知巳, 黒澤 一. 高齢者喘息の病態—肺機能と画像所見. 臨床免疫・アレルギー科 46: 377-381, 2006
25. 高山哲郎, 黒川良望, 貝羽義浩, 三井一浩, 黒澤 一, 飛田 渉. COPD の外科的治療. 総合臨床 55: 2475-2483, 2006

26. 黒澤 一. COPD の呼吸生理. 医学のあゆみ 218: 1000-1004, 2006
27. 黒澤 一. COPD のスパイロメトリー診断と β 2 刺激薬 (質疑応答). 日本医事新報 4297: 92-93, 2006
28. 黒澤 一. IC の測定と臨床的有用性. 呼吸 25: 615-622, 2006
29. 黒澤 一, 上月正博. 呼吸器リハビリテーションの実際—ガイドラインとその使い方—. Medical Practice 23: 1057-1062, 2006
30. 黒澤 一, 飛田 渉. COPD 動的気道狭窄および肺過膨張の病態生理と意義. 第 33 回箱根呼吸討論会記録 No3. 呼吸 25: 200-208, 2006
31. 黒澤 一. 他職種との連携. 日本医事新報 4266: 45-48, 2006
32. 黒澤 一. 呼吸機能と気管支喘息の診断・管理: 一般臨床でどこまで必要か. 喘息 19: 19-23, 2006
33. 黒澤 一. 喘息の疫学. 内科 97: 215-219, 2006
34. 黒澤 一, 上月正博. 呼吸リハビリテーションの実際—ガイドラインとその使い方. Medical Practice 23: 1057-1062, 2006
35. 伊藤 修. 透析患者のリハビリテーション: 就業、雇用の現状と課題. Journal of Clinical Rehabilitation 15: 202-207, 2006
36. 伊藤 修. 内部障害と組織脂肪化. 登米市医師会だより 368: 1-2, 2006
37. 伊藤 修, 上月正博. 知っておきたい薬の知識: 代謝系の薬剤. 総合リハビリテーション 34: 975-980, 2006
38. 伊藤 修, 上月正博. 低活動による影響. Monthly Book Medical Rehabilitation 72: 12-17, 2006
39. 長坂 誠, 上月正博. フィットネス向上のための運動処方. 臨床スポーツ医学 23: 1183-1189, 2006
40. ◎森 信芳, 上月正博. 臓器移植. 総合リハビリテーション 34: 429-434, 2006
41. 畠しのぶ, 佐野裕子, 国島美佐, 鈴木千勢, 田中愛理, 丸山仁司. 実践腰痛リハビリテーション—牽引療法と電気温熱療法. Monthly Book Medical Rehabilitation 64: 35-39, 2006
42. ◎室谷嘉一, 伊藤 修. 高血圧性腎障害. 総合臨床 55: 1299-1303, 2006
43. ◎室谷嘉一, 伊藤 修. 尿蛋白の重要性と測定法. 臨床検査 50: 511-514, 2006

評論、記事、対談、その他

1. 上月正博. 病院情報ファイル リハビリの新常識: 単なる回復期機能訓練ではなく、悪化予防を旨とする攻めの医療へ進化. 週刊文春: p72, 2006年5月18日号
2. 上月正博. 第42回日本リハビリテーション医学会 在宅酸素療法患者に呼吸リハの有効性を伝えるべき. Medical Tribune p20. : 2006.7.20. 発行
3. 上月正博. 第16回日本呼吸管理学会 —HOT患者の実態調査—すべてのADLで息切

- れ伴う。Medical Tribune p25. : 2006.8.24. 発行
4. 上月正博. 第12回日本心臓リハビリテーション学会—心臓リハビリテーションの普及をめざして—採算性は工夫により良好. Medical Tribune p28. : 2006.9.27. 発行
 5. 上月正博. 2006年度新理事紹介. リハニュース 31: p4. 2006.10.15. 発行
 6. 上月正博. 編集委員会. リハニュース 31: p5. 2006.10.15. 発行
 7. 上月正博. なるほど健康雑学—東北大リレー講座「リハビリの大変身①」. 河北新報朝刊: p12. 2006.12.25. 発行
 8. 福地義之助, 石井芳樹, 植木 純, 黒澤 一. COPD におけるエアートラッピングに対する長時間作用型吸入抗コリン薬チオトロピウムの作用と日常臨床への応用 (座談会). Progress in Medicine 26: 635-641, 2006
 9. 植木 純, 黒澤 一, 千住秀明, 藤本圭作. 呼吸困難感の評価、治療をめぐる (座談会). 呼吸 25: 458-466, 2006
 10. 福地義之助, 黒澤 一, 千住秀明, 西村正治. COPD 疫学研究の世界的展開 (座談会). 呼吸 25: 749-760, 2006
 11. 田林暁一, 崔 禎浩, 井口篤志, 黒澤 一, 加藤正人. 麻酔科医師不足への対応 麻酔科医不足の現状を想う 外科医の立場から. 日本手術医学会誌 27: 288-291, 2006
 12. 黒澤 一. 進行する COPD —早期禁煙で重症化防止—. 河北新報 2006年1月6日朝刊 p7, 2006
 13. 黒澤 一. なるほど健康雑学—東北大リレー講座 日常の「呼」と「吸」. 河北新報 2006年7月24日朝刊 p10, 2006
 14. 黒澤 一. なるほど健康雑学—東北大リレー講座 呼気の力. 河北新報 2006年7月31日朝刊 p10, 2006
 15. 黒澤 一. なるほど健康雑学—東北大リレー講座 禁煙のすすめ. 河北新報 2006年8月7日朝刊 p18, 2006
 16. 黒澤 一. 病院敷地内禁煙化に伴う客待ちタクシー禁煙車化. 宮城県医師会報 728 : 722-724, 2006
 17. 黒澤 一. 呼吸器疾患研究の展望 基礎から臨床まで (書評). 週刊医学界新聞 2701(2006.10.2号): pp6, 2006.
 18. 黒澤 一. 禁煙外来における患者指導の実際 (第243回研究会講演要旨). 宮城保険医新聞 1285号 3ページ (2006.11.5)
 19. 黒澤 一. 病院客待ちタクシーを禁煙車に. 日本禁煙医師連盟通信 15: 2-3, 2006
 20. 黒澤 一. 苦しい呼吸、楽しい呼吸. 白鳥 182 : 1-13, 2006
 21. 黒澤 一. たばこ病って何?—COPDの早期発見と治療— 関医会報 150: 15, 2006
 22. 伊藤 修. WOCセンター設立3周年を迎えて. 病院だより (東北大学病院) 170:

1, 2006

23. 伊藤 修. 患者満足度調査について. 教室委員会だより 11: 1, 2006
24. ◎小野二美. 第 12 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会ー口腔・中咽頭癌術後 QOLー発話、摂食・嚥下機能の低下は QOL 低下につながる. Medical Tribune p31. : 2006. 9. 28. 発行